

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



病気の話 「帯状疱疹（たいじょうほうしん）」

横浜新緑総合病院 皮膚科 副部長 松岡 百合子

【はじめに】

コロナ禍の中、自粛生活を余儀なくされ不安やストレスを抱えている方が多いせいか、統計はありませんが帯状疱疹が増えていると感じます。

強い痛みを伴うことの多いこの厄介な病気について、簡単ですがご説明します。

【帯状疱疹の原因】

帯状疱疹の原因は、水ぼうそうと同じ水痘・帯状疱疹ウイルスです。このウイルスに初めて感染すると水ぼうそう（水痘）を発症します。

水痘が治癒した後もウイルスは脊髄から出る後根神経節内に潜伏していて、免疫力が下がると再活性化し、神経節から皮膚に移動して帯状に赤い丘疹や水疱が神経の走行に沿って出現します。免疫力が下がる原因としては、加齢、疲労やストレス、その他悪性腫瘍など免疫力が下がる病気も挙げられます。

【症状】

一般的に、はじめは片側の神経分布領域に一致して痛みや違和感などが5日から1週間続きます。この時期は発疹が出ていないので診断が付きません。頭痛や腹痛、腰痛として脳神経外科や整形外科、消化器科など受診される方もいらっしゃいます。

その後、その部分にやや盛りあがった赤い斑点が出てきて、間もなく赤い斑点の上に透明な水疱ができそれが黄色い膿疱になります。ひどいと爛（ただ）れたり潰瘍になることもあります。1週間過ぎれば治癒に向かい、かさぶたになり脱落し、2～3週間で治癒します。



【治療】

重症度は様々ですが、患者さまの抵抗力によって決定されます。初期に軽症でも無理は禁物です。

抗ヘルペスウイルス薬の全身投与をできるだけ早期に開始することによって治癒までの期間を短縮し、合併症や後遺症を抑えることも期待されます。必要に応じて消炎鎮痛薬等を併用します。

重症の場合、入院して抗ヘルペスウイルス薬を点滴することもあります。

【合併症】

目のあたりの帯状疱疹では角膜炎や結膜炎、耳から顎のあたりでは耳鳴りや難聴、顔面神経麻痺（ハント症候群）、腹部の帯状疱疹では腹部が膨隆したり便秘になります。外陰部領域ですと尿閉がおきたりします。

【後遺症】

急性期の痛みは皮膚や神経の炎症によるものですが、神経の損傷によりその後も痛みが持続することがあり、帯状疱疹後神経痛と言います。ペインクリニックなどで専門的な治療が必要なこともあります。

皮膚症状が重症で高齢者であるほど帯状疱疹後神経痛が残りやすく、初期の抗ウイルス剤の投与が重要だと言われています。

【ワクチン】

50歳以上で水疱瘡にかかったことのある方は、帯状疱疹の予防としてワクチンの接種をおすすめします。2種類あり、それぞれ長所と短所がありますので医師にご相談ください。



10月入職 新任医師ご挨拶

《脳神経外科》 築山 敦 (つきやま あつし)

2021年10月より勤務しております築山 敦です。情報にあふれ、病院の看板や手術件数などのデジタルデータに目がくらむ現代にあっても、疾患をエビデンスを基に治療することのみにとらわれず、人として医療者と患者さん方が一丸となって厳しい現実に向かい健やかに生きるための診療を常に考えてきました。

脳卒中の外科を専門としておりますが、どの脳外科領域にも通底する基本に忠実で正確・安全な手術を心掛け提供しております。よろしくお願い申し上げます。



<資格> 脳神経外科専門医、脳血栓回収療法実施医

Advanced Skull Base Microanatomy Hands-On Dissection Course Certificate 2015(福島孝徳教授)

<受賞>

- 5 min Championship 顕微鏡下手術手技コンテスト 優勝, 2020, 第29回脳神経外科手術と機器学会 : CNTT2020
- Best Neurosurgeon of The Year 2019, Nippon Medical School
- Memorable Presentation Award, 2017, 第4回手技にこだわる脳神経外科ビデオカンファランス



部門紹介 2021 | 手術室

手術室 科長 池田 塔平

当院には4部屋の手術室があり、麻酔科医3名、看護師17名、看護補助者3名が勤務しています。消化器外科、整形外科、脳神経外科、婦人科、泌尿器科、乳腺外科、眼科の手術が行われ、2020年度の手術件数は1,526件でした。緊急手術も263件と年々増加傾向にあり、脳出血やくも膜下出血などの脳血管疾患による緊急手術にも24時間体制で迅速に対応しています。

突然の病気や怪我で手術を受けることになった時、ショックや戸惑い、不安など手術に対する想いは、患者さま一人ひとり異なります。緊張や不安を抱えながら手術に臨む患者さまの気持ちに寄り添えるように、手術室看護師が病室に訪問し、お話を伺います。



手術室看護師は短い時間しか関わることができませんが、患者さまにとって人生の重要な場面であることを忘れず、個別性に応じた看護が提供できるように、また少しでも安心して手術に臨めるよう、患者さまからの質問にお答えしています。

患者さまから期待される安全で質の高い手術医療を提供するため、手術に関わる医師、看護師、臨床工学技士、薬剤師、放射線技師、理学療法士など多職種が協働し、手術前、手術中、手術後をサポートしています。



WEB版みんなの健康講座

※オンライン配信

◇ WEB版みんなの健康講座バックナンバーはホームページ、スマホ（QRコード）からいつでもご視聴いただけます。

第1回 脱腸 ～意外と多い脱腸～

第6回 糖尿病網膜症について

第2回 知ろう！学ぼう！考えよう！乳がん

第7回 病気と思う前に～泌尿器科編②

第3回 骨粗鬆症と腰椎圧迫骨折

第8回 糖尿病腎症について

第4回 糖尿病と運動療法

第9回 膝が痛くて手術を受ける患者さまへ

第5回 病気と思う前に～泌尿器科編①

第10回 40歳過ぎたら一度は大腸内視鏡検査を！



WEB版
みんなの健康講座